

JIS

耐食耐熱超合金，ニッケル及びニッケル合金— 板及び帯

JIS G 4902 : 2019

(JSSA/JSA)

令和元年 9 月 20 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	酒 井 信 介	横浜国立大学
(委員)	伊 藤 弘	国立研究開発法人建築研究所
	宇 治 公 隆	首都大学東京 (公益社団法人土木学会)
	大 石 美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	奥 田 慶一郎	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	奥 野 麻衣子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	鎌 田 実	東京大学
	木 村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	佐 伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	椎 名 武 夫	千葉大学
	高 田 祥 三	早稲田大学
	高 増 潔	東京大学
	千 葉 光 一	関西学院大学
	寺 澤 富 雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	奈 良 広 一	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	西 江 勇 二	一般財団法人研友社
	福 田 泰 和	一般財団法人日本規格協会
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	槇 徹 雄	東京都市大学
	三 谷 泰 久	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	棟 近 雅 彦	早稲田大学
	村 垣 善 浩	東京女子医科大学
	山 内 正 剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所
	和 辻 健 二	一般社団法人日本自動車工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 45.10.1 改正：令和元.9.20

官 報 掲 載 日：令和元.9.20

原 案 作 成 者：ステンレス協会

(〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館 TEL 03-3669-5691)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 種類の記号	1
4 製造方法	2
5 化学成分	3
5.1 溶湯成分値	3
5.2 製品分析値	3
6 機械的性質	3
6.1 熱処理を行った板及び帯	3
6.2 熱間加工後の熱処理を省略した板及び帯	3
7 耐食性	7
8 結晶粒度	7
9 表面仕上げ	8
10 外観	8
11 寸法の許容差及び形状	9
11.1 一般	9
11.2 厚さの許容差	9
11.3 幅の許容差	10
11.4 板の長さの許容差	12
11.5 板の平たん度	13
12 試験	13
12.1 分析試験	13
12.2 機械試験	13
12.3 腐食試験	14
12.4 結晶粒度試験	14
13 検査	14
14 表示	15
15 報告	15
附属書 A (参考) 耐食耐熱超合金, ニッケル及びニッケル合金の熱処理条件の例	16
附属書 B (規定) 寸法の許容差及び形状	18
解 説	24

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、ステンレス協会（JSSA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS G 4902:1991** は改正されこの規格に置き換えられ、また、**JIS H 4551:2000** は廃止され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格に従うことは、次の者の有する特許権等の使用に該当するおそれがあるので、留意する。

種類の記号	特許権者	発明の名称	特許番号	設定の登録の年月日
NCF354	日本冶金工業株式会社	有機酸と塩分を含有する環境下で使用するステンレス鋼	第 4325141 号	2009 年 6 月 19 日
NCF020	日本冶金工業株式会社	耐硫酸腐食性、耐粒界腐食性および表面性状に優れる Fe-Ni-Cr 系合金およびその製造方法	第 5950306 号	2016 年 6 月 17 日
NW6210	日立金属株式会社	熱間鍛造性および耐食性に優れた Ni 基合金	第 5725630 号	2015 年 4 月 10 日

上記の、特許権等の権利者は、非差別的かつ合理的な条件でいかなる者に対しても当該特許権等の実施の許諾等をする意思のあることを表明している。ただし、この規格に関連する他の特許権等の権利者に対しては、同様の条件でその実施が許諾されることを条件としている。

この規格に従うことが、必ずしも、特許権の無償公開を意味するものではないことに注意する必要がある。

この規格の一部が、上記に示す以外の特許権等に抵触する可能性がある。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権等に関わる確認について、責任はもたない。

なお、ここで“特許権等”とは、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権をいう。

注記 工業標準化法に基づき行われた申出、日本工業標準調査会の審議等の手続は、不正競争防止法等の一部を改正する法律附則第 9 条により、産業標準化法第 12 条第 1 項の申出、日本産業標準調査会の審議等の手続を経たものとみなされる。

耐食耐熱超合金，ニッケル及びニッケル合金— 板及び帯

Corrosion-resistant and heat-resistant superalloy, nickel and nickel alloy—
Plate, sheet and strip

1 適用範囲

この規格は，熱間圧延又は冷間圧延した耐食耐熱超合金，ニッケル及びニッケル合金の板（以下，板という。）及び帯（以下，帯という。）について規定する。

2 引用規格

次に掲げる規格は，この規格に引用されることによって，この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は，その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS G 0320 鋼材の溶鋼分析方法

JIS G 0321 鋼材の製品分析方法及びその許容変動値

JIS G 0404 鋼材の一般受渡し条件

JIS G 0415 鋼及び鋼製品—検査文書

JIS G 0551 鋼—結晶粒度の顕微鏡試験方法

JIS G 0567 鉄鋼材料及び耐熱合金の高温引張試験方法

JIS G 0802 ステンレス鋼板の超音波探傷検査方法

JIS H 1270 ニッケル及びニッケル合金—分析用試料採取方法及び分析方法通則

JIS Z 2241 金属材料引張試験方法

JIS Z 2243-1 ブリネル硬さ試験—第1部：試験方法

JIS Z 2244 ビッカース硬さ試験—試験方法

JIS Z 2245 ロックウェル硬さ試験—試験方法

JIS Z 2343-1 非破壊試験—浸透探傷試験—第1部：一般通則：浸透探傷試験方法及び浸透指示模様の分類

3 種類の記号

板及び帯の種類は27種類とし，その分類及び種類の記号は，表1による。